

学校教育目標 『人間性を磨き たくましく生きる生徒の育成』 「自主 創造」



いわき

意和氣のかと心でチャレンジ!

由利本荘市立岩城中学校
2023. 10. 26(木) NO. 12
文責：校長 船木

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。 アンケートを集計し分析した結果をお知らせします。

アンケート結果の詳細については、別添の「令和5年度学校づくりアンケート」をご覧ください。生徒アンケートと保護者アンケートの結果を比較できるように並べ、各学年と全校の集計結果をグラフで表しております。

生徒アンケートの集計結果

設問別に見ますと、肯定的な回答の割合が、設問3『共助』の気持ちを持ち、互いに協力している。」が92.5%、設問5「日常的に安全に気を付けて行動している。」が92.5%、設問14「先生は生徒の安全、安心を守るために努めている。」が89.2%、設問2「寛容の気持ちを持ち、相手の立場で話しを聴いたり、話したりしている。」が88.2%、設問18「岩城中学校は特色ある教育活動をしている。」が87.1%と上位を占めています。中でも設問5「日常的に安全に気を付けて行動している。」、設問14「先生は生徒の安全、安心を守るために努めている。」では、肯定的な回答のうち「Aそう思う」と回答した割合が高く、普段から安全について高い意識をもちながら、相手のことを考えて助け合いの気持ちをもって生活していることがうかがわれます。

一方、設問7「学ぶことに喜びを感じ、主体的に学習に向かっている。」が61.3%、設問6「食事や睡眠、メディアの使用など、適切に自己管理し、規則正しい生活をしている。」が66.7%と、肯定的な回答が70%を下回っています。中でも設問7「学ぶことに喜びを感じ、主体的に学習に向かっている。」の項目については、「Aそう思う」が18.3%と非常に低く、生徒が「分かった」「できた」を実感しながら主体的に学習に取り組むことができる授業づくりを進める必要があります。そのために、本校が推進している「対話を中心とした授業づくり」と、生徒一人一人の状況に対応したきめ細かな指導の一層の充実を目指し、全職員の共通理解のもとで実践を積み重ねいくことが大事と考えています。

保護者アンケートの集計結果

肯定的な回答の割合が生徒の回答の割合を下回っているものが15項目あり、保護者の子どもや学校へ対する期待の大きさが、より厳しい評価につながっているのではないかと推察されます。中でも設問20「学校でタブレット等のICT機器をよく活用している。」では肯定的な回答が生徒と保護者で30ポイント以上差があり、タブレットやICT機器の利活用や生徒のスキル向上を望んでいることが分かります。

設問別に見ますと、肯定的な回答の割合が、設問5「お子さんは、日常的に安全に気を付けて行動できる。」が94.2%、設問3「お子さんは『共助』の気持ちを持ち、互いに協力することができる。」が88.5%、設問14「学校は生徒の安全、安心を守るために努めていると思う。」が88.4%、設問2「お子さんは寛容の気持ちを持ち、相手の立場で話しを聴いたり、話したりできる。」が86.5%、設問11「学校は、校報、学年・学級通信等により学校の様子をよく伝えている。」が84.6%と上位を占めています。

一方、設問6「お子さんは、食事や睡眠、メディアの使用など、適切に自己管理し、規則正しい生活をしている。」が48.1%、設問9「お子さんには、学力の基礎・基本が身に付いている。」が53.8%、設問20「学校はタブレット等のICT機器をよく活用していると思う。」が53.9%、設問8「お子さんは、何事にも積極的にチャレンジし、自分を高めようと努力している。」が55.7%、設問19「学校は地域の人材や素材、資源を積極的に活用している。」が63.5%となっています。

家庭での学習を含めた望ましい生活習慣の確立のために、家庭と連携し、一人一人の生活の状況を把握しながら生徒への支援をより一層充実させていく必要があると考えます。また、確かな学力の定着を目指した授業改善と家庭学習の充実を図ることで、基礎・基本の定着を目指していきます。

「知・徳・体」をバランスよく育み、岩城地区の未来を担う人材育成のために、今回のアンケートや諸調査の結果を今後の学校経営に生かし、教育活動を充実させたいと考えています。

今回、生徒、保護者ともにインターネット（forms）を利用してアンケートを実施しましたが、保護者の回答率が低かったですので、次回のアンケートは回答用紙またはインターネット（forms）のどちらかで回答するようにします。ご協力よろしくお願いいたします。